

都城工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)	授業科目	建築デザイン基礎
科目基礎情報					
科目番号	0015		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	建築学科		対象学年	1	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	建築概論 (井上書院)				
担当教員	杉本 弘文				
到達目標					
1) 建築物の計画・設計・デザインに関する最低限必要な基本的な事項が説明できること。 2) 建築物の計画・設計・デザインに求められている基本的な条件を把握できること。 3) 著名な建築家のデザインの特徴や設計理念を理解し、説明できること。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	建築物のデザインに関する基礎的な知識を有し、各種建築物の計画・設計のポイントを説明できる。		建築物のデザインに関する基礎的な知識を概ね理解している。		建築物のデザインに関する最低限の知識を有している。
評価項目2	建築の社会的役割や重要性を十分に理解し、自身の考えを踏まえた建築・都市の提案ができる。		建築の社会的役割や重要性を理解し、自身の考えを説明できる。		建築の社会的役割や重要性をおおよそ理解している。
評価項目3	実在する建築物の計画・設計の要点を理解し、他人にも十分理解できるようにプレゼンテーションできる。		実在する建築物の計画・設計の要点を理解し、その特徴を説明できる。		実在する建築物の計画・設計の要点をある程度理解し、その特徴を把握できる。
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育目標・サブ目標との対応 2-2					
教育方法等					
概要	建築のデザイン・設計・計画の基礎的な内容を知ることが目標とする				
授業の進め方・方法	1) 本講義はスペースデザイン・インテリアデザイン・コミュニティデザイン等につながる科目である。自らの作品づくり・提案に必要な創造(想像)力や思考力を養う機会とすること。 2) 建築デザインのプロセスやデザイン手法などの基礎的な事項を、パワーポイントを用いて事例を参照しながら学習するので、適宜メモやスケッチ等を用いて内容の理解に努めること 3) 計画手法と事例を抽象的ではなく具体的に説明するために、PPTや配布資料などによって著名な建築家や都市の設計例をできる限り多く紹介するので、授業での理解を手掛かりに受講者自らが意識的・自発的に建築空間を体験したり、建築家がデザインした設計例を学習すること。 4) 建築設計競技(コンペ)やコンテスト、資格試験(インテリアコーディネーター、カラーコーディネーター、福祉住環境コーディネーター等)にチャレンジするために、自宅学習など自主的に課題に取り組むことが望ましい。				
注意点					
ポートフォリオ					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	1. 建築デザインへのアプローチ (1) 建築の分野とは何か①	建築の分野の広がりを理解する	
		2週	(1) 建築の分野とは何か②	建築の分野の広がりを理解する	
		3週	(2) 建築の原点としての住まい ①様々な住まいや集落のかたち-1	「住まう」ために必要な機能について理解する	
		4週	(2) 建築の原点としての住まい ①様々な住まいや集落のかたち-2	「住まう」ために必要な機能について理解する	
		5週	(2) 建築の原点としての住まい ②気候風土と住まい	気候風土と住まいの関連を理解する	
		6週	(3) 建築の集合としての都市 ①古代の都市・中世の都市・現代の都市	古代から現代までの都市の変遷と成り立ちの概要を理解する	
		7週	(3) 建築の集合としての都市 ②都市計画とまちづくり	都市計画やまちづくりの基礎を理解する	
		8週	中間試験 試験答案の返却及び解説		
	2ndQ	9週	2. 建築デザインのプロセス (1) 建築家の仕事	建築の分野にはどのような仕事があるのか、建築ができるまでの流れを理解する	
		10週	(2) 建築設計のプロセス ①STAGE1・2 営業・企画	建築設計のプロセスを理解する	
		11週	(2) 建築設計のプロセス ②STAGE3 職種	建築設計のプロセスを理解する	
		12週	(2) 建築設計のプロセス ③STAGE4 設計・管理業務	建築設計のプロセスを理解する	
		13週	(3) 建築の基本用語と基本ルール	建築の基本用語と基本ルールについて理解する	
		14週	(4) 自然との共生を考える	建築と環境共生について、関連を理解する	
		15週	(5) 建築家とデザイン	代表的な建築家の作品やその設計趣旨について理解する	
		16週	期末試験 試験答案の返却及び解説		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	レポート	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	20	0	100
基礎的能力	60	0	0	0	10	0	70
専門的能力	20	0	0	0	10	0	30
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0